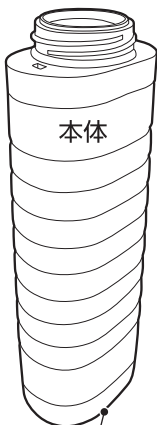




ワンタッチボトル STOB

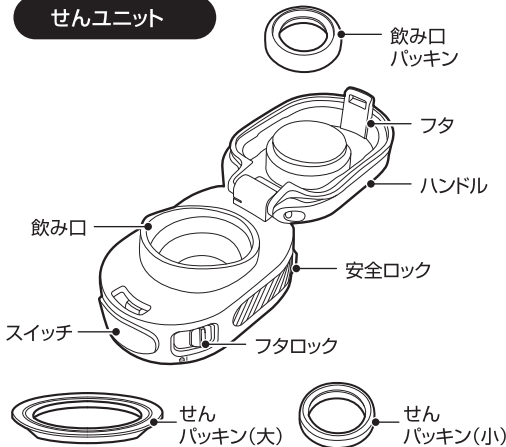
取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この製品は家庭用です。飲みものの保冷以外には使用しないでください。
また、業務用としての使用はしないでください。
ご使用前に、この取扱説明書をよく読んでから使用してください。
お読みになった後も、いつでも見られるように大切に保存してください。



(底面)
製造ロットシール
※はがさず使用してください

せんユニット



※お買上げ時は装着済みです

《注意》せんパッキン・飲み口パッキンが確実に装着されていることをご確認ください。

説明書中のイラストは実際のものとは異なる場合があります。
また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

ご使用になる前に

- はじめてご使用になる前に、本体の傷・凹み、せんユニットのひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 本体にシールが貼ってある場合は、シールをはがしてからご使用ください。ただし、本体底面に貼ってある製造ロットシールははがさないでください。
- はじめてご使用になる時は、本体内側・せんユニットを食器用洗剤をつけた市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。
- 品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合は、ご使用にならないで、お買い求めのお店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

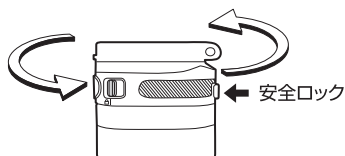
ご使用方法

1 センユニットをはずします。

安全ロックを押しながらセンユニットを矢印の方向にまわして(左回転)はずしてください。

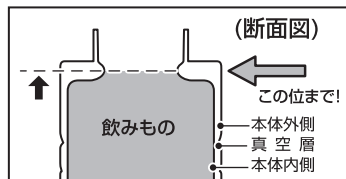
注

安全ロックを押してセンユニットを回す際、スイッチを押してフタがあく場合がありますので、ご注意ください。



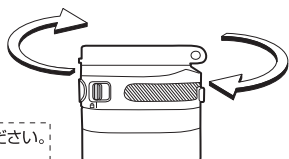
2 飲みものをいれます。

飲みものの量は右図の位置までにしてください。入れすぎると、センユニットを開めたときに飲みものが溢れ出る原因になります。



3 センユニットを閉めます。

センユニットにパッキンが取り付けられていることを確認し、本体を立てた状態で、センユニットを矢印の方向にまわして(右回転)安全ロックが「カチッ」となるまで閉めてください。閉めた後は、センユニットが確実に閉まっていることを確認してください。



注

センユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。飲みものが溢れ出たり、漏れたりして、ものを汚す原因になります。

注

安全ロックが「カチッ」となったら、それ以上まわさないでください。安全ロックが破損する可能性があります。

4 飲みものを飲みます。

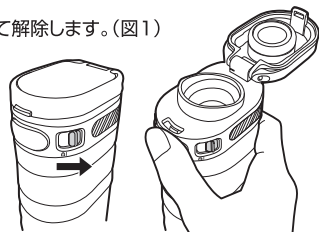
1. 本体を立てた状態で、フタロックを矢印の方向に動かして解除します。(図1)
2. スwitchを押してフタを開けます(図2)

注

飲み口に残っていた水滴などが飛散することがありますので、ご注意ください。

注

熱いお湯を入れた時、内圧により勢いよくフタが開くことがありますのでご注意ください。その際に「ボンッ」という音が鳴ることがありますが、製品に問題はございません。



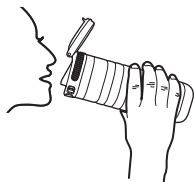
(図1)

(図2)

ご使用方法

- 注** スイッチを押す際に、安全ロックを押してしまうと漏れたりするおそれがありますのでご注意ください。

3. 飲み口に口をつけて、ゆっくり傾けながら飲みものを飲みます。



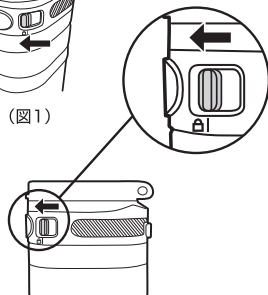
- 注** 熱い飲みものを入れた場合は、ヤケドにご注意ください。

5 飲み終わったら。

本体を立てた状態で、「カチッ」と音が出るまでフタを閉めます。
閉めた後は、フタが確実に閉まっていることを確認してください。



- 注** 使用しない場合は、フタロックを矢印の方向に動かしてフタ開閉のロックをかけてください。(図3) フタロックしていない場合、スイッチに触れると容易にフタが開き飲みものがこぼれる可能性があります。



【ハンドル】 ご使用方法

ハンドルは、右図のように使い、本製品を持ってください。

- 注** フタロックをしてせんユニットが確実に閉まっているか確認してください。飲みものが溢れ出たり、漏れたりしてものを汚す原因になります。

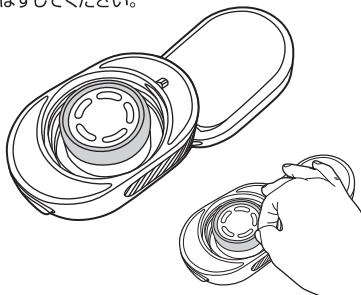
- 注** ハンドルは無理に回さないでください。
変形や割れ、破損の原因となり危険です。



せんパッキン(小)・せんパッキン(大)のはずし方・取り付け方

せんパッキン(小) のはずし方

フタを開けた状態で、手でつまんではずしてください。



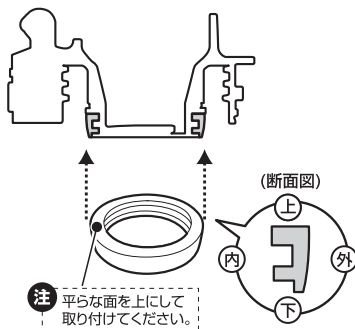
せんパッキン(大) のはずし方

つまようじなどで外してください。パッキンを破損しないように注意してください。



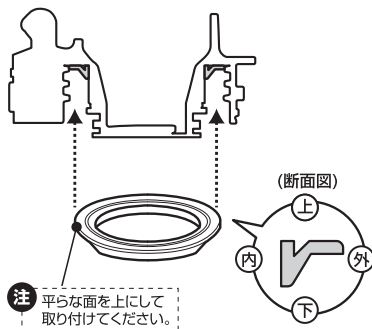
せんパッキン(小) の取り付け方

上下の方向を確認し、せんユニットに正しく取り付けてください。取り付け後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく箸などで押してください。



せんパッキン(大) の取り付け方

上下の方向を確認し、せんユニットに正しく取り付けてください。取り付け後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく箸などで押してください。



※正しく取り付けられていないと、漏れや作動不良の原因になります。

※取り付け後は、せんユニットが正常に動くことを確認してください。

飲み口パッキンのはずし方・取り付け方

飲み口パッキンのはずし方

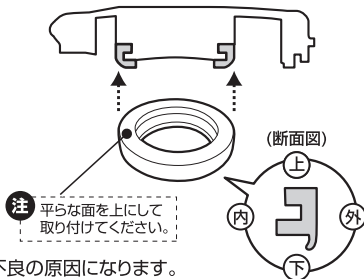
フタを開けた状態で、
手でつまんで
はずしてください。



- ※正しく取り付けられていないと、漏れや作動不良の原因になります。
- ※取り付け後は、せんユニットが正常に動くことを確認してください。

飲み口パッキンの取り付け方

上下の方向を確認し、フタに正しく取り付けてください。
取り付け後は、飲み口パッキンが浮かないようにまんべんなく箸などで押してください。

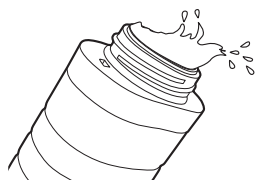


お手入れについて

- お手入れはぬるま湯でうすめた食器用洗剤を使用してください。
- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
- 長期間で使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保存してください。

本体のお手入れ

食器用洗剤をつけた市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどできれいに洗い、汚れを落とした後、流水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。
本体内側の汚れが落ちない場合、水で薄めた酸素系漂白剤を本体内側に入れ30分間（目安）つけ置きしたあと、よく水で洗ってください。



- 注 四角い形状のため、隅までお手入れしてください。
- 注 酸素系漂白剤を使用する際は、本体はせんユニットで密閉しないでください。本体の内圧が上昇し、せんユニットが破損する恐れがあり危険です。酸素系漂白剤の注意事項をよく読みの上、正しくご使用ください。

- 注 本体は水中に放置しないでください。

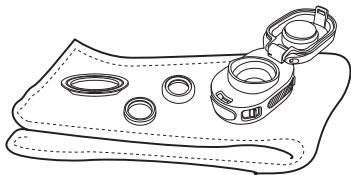
お手入れについて

せんユニットのお手入れ

それぞれきれいに洗い、水分を拭きとって、十分乾燥させてください。

長期間で使用にならない場合は、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させてから保存してください。

洗浄時にパッキンをはずす場合は、洗浄後にパッキンの付け間違いがないようにパッキンの上下を確認してください。



お手入れ上のご注意

●お手入れの際は次の点を必ず守ってください。

■本体・せんユニットは煮沸しないでください。

部品が変形し、飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。

■食器用洗浄機・食器用乾燥機は使用しないでください。

部品が変形し、飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。

■本体は水中に放置しないでください。

サビや保冷不良の原因になります。

■塩素系漂白剤・シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーなどは使用しないでください。

サビやキズ、保冷不良の原因になります。

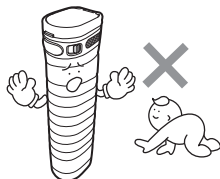
■本体外側には漂白剤を使用しないでください。

製造ロットシールの剥がれの原因になります。



警告

- こどものいたずらに注意して、乳幼児の手の届くところには置かないでください。





ご使用上の注意

- **飲み口パッキン・せんパッキンが確実に装着されていることを確認してください。**
飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。飲み口パッキン・せんパッキンの取りはずしの際には紛失及び未装着に注意してください。
- **せんユニットが確実に閉まっていることを確認してください。**
飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。
また、せんユニットは真っ直ぐに閉めてください。
- **ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。**
製品の変形、変色の原因になります。
- **電子レンジでの加熱はしないでください。**
火花が飛び危険です。
- **冷凍庫には入れないでください。**
- **持ち歩くなど移動する際は、フタロックをしてせんユニットが確実に閉まっていることを確認してください。**
飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。
- **せんユニットは傾けた状態で開閉しないでください。**
飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。
- **飲みものの量は右図の位置までにしてください。**
入れすぎるとフタが開かなくなったり、せんユニットを開めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。
また、使用中に漏れ、ものを汚す原因になります。
- **飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。**
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上昇し、せんユニット・フタが開かなくなる恐れがあります。
また、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散する恐れがあり危険です。





ご使用上の注意

●飲みものを入れた後、本体を逆さにして漏れないことを確認してください。

●次のものは絶対に入れないでください。

■ドライアイス・炭酸飲料水

内圧が上昇し、せんユニットが開かなくなる恐れがあります。また、飲みものが噴き出したり、せんユニットが破損して飛散する恐れがあり、危険です。

■みそ汁・スープなど塩分を多く含んだもの

本体内側にはステンレス鋼を使用していますが、塩分により、サビが発生する原因になります。

■アルコール飲料

アルコールは、発酵して内圧が上がり、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。

●スポーツドリンクや牛乳・乳飲料・果汁など入れた場合は、使用後すぐにお手入れしてください。

スポーツドリンクに含まれる塩分により、サビが発生する原因になります。

また、牛乳・乳飲料・果汁などは成分の腐敗や変質の原因になります。腐敗などによりガスが発生して内圧が上昇し、キャップ・せんユニットが開かなくなる恐れがあります。また、飲みものが噴き出したりする恐れがありますので、キャップをしない状態でご使用し、使用後はすぐにお手入れしてください。

●においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。

「お手入れについて」に従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

●熱いやかんなどを近づけないでください。

変形やキズの原因になります。また、本体が転倒してものを汚す原因になります。

●落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。

変形や割れ、保冷不良の原因になります。またせんユニットが破損する原因になります。

●改造・修理・分解は絶対にしないでください。

故障、事故の原因となり危険です。

●バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。

●パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。

万一、飲みものが漏れた場合、精密機器の破損・故障の原因になる恐れがあります。

●運転中は危険ですので使用しないでください。

運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。

●お手入れの際、次の点を必ず守ってください。

■本体・せんユニットは煮沸しないでください。

部品が変形し、飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。

■食器用洗浄機・食器用乾燥機は使用しないでください。

部品が変形し、飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。

ご使用上の注意

- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、においや汚れ、パッキンの変色の原因になる恐れがあります。
- ハンドルを持って振り回して引っ張ったり、無理な力を加えないでください。
- ハンドルは用途以外の使用はしないでください。
- 本体の上に座ったり、ものを載せたりしないでください。
部品が変形し、飲みものが漏れ、ものを汚す原因になります。
- 本体がぬれた状態で持ち上げたり、使用しないでください。
本体が落下し、ケガや事故の原因になります。
- 平らなテーブルなどに置いて使用してください。
本体が転倒し、破損する原因になります。

せんユニットのせんパッキン、飲み口パッキンは消耗品です。
1年を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、
表面のザラつきや損傷のある場合は交換してください。

困ったときのQ&A

Q

飲みものが漏れたときは？

A

1. せんユニット・フタがしっかり閉められているか確認してください。
2. 飲みものを入れすぎているか確認してください。
飲みものの量は適正な位置までにしてください。
3. パッキンが確実に取り付けられているか確認してください。
上下の方向を確認し、正しく取り付けてください。
取り付け後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく箸などで押してください。
4. せんユニット・フタが破損・消耗していないか確認してください。

Q

本体内側が変色したときは？

A

1. 汚れが付着している場合、食器用洗剤をつけた市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。
2. 斑点状の赤いサビが付着している場合水に含まれる鉄分などが付着したものです。
食酢を10%ほど薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、約30分後に市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。

3. ザラザラしたものが付着している場合

水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。

クエン酸を10%ほど薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、せんユニットを取り付けずに約3時間後に市販のボトル洗浄用ブラシ・スポンジなどでよく洗ってください。

注

酸素系漂白剤を使用する際は、本体はせんユニットで密閉しないください。

本体の内圧が上昇し、せんユニットが破損する恐れがあり危険です。

酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

Q

保冷が効かないときは？

A

1. 冷たい飲みものをいれているか確認してください。本体に少量の冷水を入れ、数分間予冷すると保冷に効果的です。

2. 飲みものの量が少なくないか確認してください。
飲みものの量を多くすると効果的です。

Q

異臭がするときは？

A

本体内側・せんユニットに汚れが付着していないか確認してください。

ご使用後は、きれいに洗い十分に乾燥させてください。

また、ご使用後は必ずお手入れしてください。

お客様サポート

<https://www.do-cooking.com/support/>



製品情報に関するお問い合わせ

よくあるご質問

製品・パーツ購入のご案内

※製品によっては、パーツ販売をしておりません。

お客様の声(アンケート)

【電話でのお問い合わせ】

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに、株式会社ドウシシャお客様相談室までご連絡ください。



株式会社 ドウシシャ www.doshisha.co.jp

お客様相談室 0120-104-481

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

※製品、型番をご確認の上、お電話を頂きますようお願い致します。

※お電話を頂いた際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスに
おいて利用させて頂きますので、ご了承ください。